

世界卓描 せかいてんびょう

第61回 アルバニア

千の窓の町

社会主義時代、鎖国政策をとってきたアルバニアはユーゴスラビア消滅後の急激な自由化の波について行けず、経済は破綻し、国中が大混乱に陥った。その混乱から20年余、経済は順調に成長し、歴史的遺産や自然の魅力を求めて旅行者の数は年々増えている。

満開の杏や桃の花を眺めながらマケドニアからアルバニアへバスで国境を越えた。入国して間もなくコンクリート製の丸い小さな建造物が目に入った。ガイドの説明によるとそれは小型の防空壕「トーチカ」とのこと。国民皆兵制度を導入していた鎖国時代に75万個もの「トーチカ」を国内のあらゆる場所に設置したが、結局実戦には一度も使用されたことはなかったそうだ。中をのぞいてみた。錆びて折れ曲がった太い針金が細い通路を塞ぎ奥には狭い空間とのぞき窓があった。ありし日



を思わせる負の遺産がアルバニアの名物の如く今もそこかしこに残されている。
ベラティと首都ティラナを訪れた。ベラティは山に抱かれた落ち着いた町。市街を一望できる丘の上にベラティ城があった。歴史は古く砦は紀元前4世紀に築かれたものという。城のある丘のあたりは歴史地区で、「千の窓の町」と言われる世界遺産に登録された場所。斜面を埋め尽くすように建つ家々はレンガ色の屋根と白い壁、高さを揃えた四角い窓が「千の窓」の名に相応しくズラリと並んでいて統一されたその美しさは見事だった。それは1ヵ所だけでなく歴史地区にある全ての集落が同様で、アルバニアで最初に博物館都市宣言を行なったと聞き領ける。

中央に位置するティラナは17世紀に築かれた町。モスクとトルコ式浴場とパン屋だけしかなかった場所が後に隊商ルートの要衝として発展し首都になった。町は芝生の緑が美しい広大な広場を中心に、その周りを大通りが囲み、さらにその周りをぐるりと取り囲むように歴史博物館をはじめオペラハウス、モスク、時計塔などの歴史的建造物やモダンで近代的な建物が加わって新しい街造りが進んでいた。それでもまだこの国の経済はバルカン半島で最低レベルなのだそうだ。(藤原紀子)

Toriの 英語で Point Lesson! Baby talk 編

5月に長男の誕生を迎えてから、英語教師としては彼の専用職員になってしまいました。それで、赤ちゃんを相手にして話していると、大人同士の時には絶対使わない「赤ちゃん言葉」をよく使うことに気づきました。今日はそのBaby talkの特徴を説明します。
一番多いのは、普通の英単語の最後の方に「イー」の音をつけて可愛くするというパターンです。例えば、「おっぱい」の意味を持つ boob という言葉は赤ちゃんに話すと boobie になります。「毛布」の意味を持つ blanket は blankie に、Dog や cat はそれぞれ doggie と kittie になります。Poop(うんち)は poopie です。
二番目に多いのは、正式の英単語とは全然違う、または最初

の音だけが似ている、言いやすい赤ちゃん専用の言葉を使うというパターンです。例を挙げると、injury (傷) は boo boo と言います。Bottle (哺乳瓶) は baba に、toilet は pottie に、Father は dada になります。
そして、各家族がその家独特な言葉を使うというパターンもあります。このパターンで一番に思いつく例は「おしゃぶり」です。正式な英語は pacifier ですが、dummy、nookie、paci など沢山の同意語があります。ちなみに、私の家では、おしゃぶりのことを binkie と言います。
皆さんも今度“国際交流ベビー和馬くん”に会ったら是非 Baby talk で話してみてください。



ハロウィンパーティ

日 時：10月28日(日) 開場12:00、開演12:30～15:00
場 所：コミセンきたの
参加費：料理持参【Potluck形式】
YIFA会員 500円 (1,500円*) 非会員 1,000円 (2,000円*)
小学生 700円 小学生未満 300円 1歳未満 無料
(家族参加の場合大人2人につき子ども1人無料) ※料理持参なしの場合
テーマ：ジャングル ビレッジ
備 考：仮装での参加をお待ちしています。簡単なグッズの貸し出しも行います。
定 員：150名

カルチャー教室 英語落語寄席

日 時：12月16日(日) 開場13:30 開演14:00
場 所：コミセンきたの
出演者：笑笑亭英語落語クラブメンバー
参加費：YIFA会員 無 料
非 会 員 200円
定 員：60名



カナダ編

国際理解講演会
日 時：12月2日(日) 14:00～15:30
場 所：コミセンきたの
講 師：エミリー・ラモン・カルディナルさん
受講料：YIFA会員 無料 非会員 200円
演 題：カナダの魅力 ～メープルシロップを越えて～
定 員：40名



中国語入門講座

～ 6回シリーズ～
日 時：1月19日、26日
2月2日、9日、16日、23日
毎週土曜日 10:00～11:30
場 所：コミセンやす
講 師：藤田 朋子さん(中国出身)
受講料：YIFA会員 4,000円 非会員 6,000円
定 員：15名(最小開講人数8名)



2018年9月 第80号

野洲市国際協会 〒520-2395 滋賀県野洲市小篠原2100-1野洲市役所 TEL:077-586-3106 FAX:077-586-3139
URL: <http://www.yifashiga.org> E-mail: yifa@gaia.eonet.ne.jp

イーファメイト 発行日：平成 30 年 9 月 15 日 編集：広報部会

2018年 姉妹都市交流

4年振りのアメリカ



野洲市国際協会の専務理事に就任した年の夏に初めて団長として参加後、今回で2回目の訪問になりました。出発の段階では、豪雨のため道路の通行止め等を心配しましたが、予定通り中部国際空港から出発できました。今回の団員は、大学生1名、中学生6名、一般の方4名と国際交流員のレインツ及び団長の竹田の13名でした。

アウトドアセンターにて

2年半ほど前から、クリントンタウンシップ(C.T.)側の姉妹都市交流事業の運営が従来の民間ボランティア組織から市の商工観光課にあたる部署(Parks and Recreation)に移行されています。前回訪問時から新たに加わった、CJバリモア(遊園地)とアウトドアセンターへの訪問、マイナーリーグ観戦、デトロイト川クルーズ等を今回も行い、大人も子供も一緒に楽しめるプログラムを体験することができました。

私のホストのKaren & Tom Laymanさんは、2013年にC.T.



からの団員として兵主大社にホームステイした後、2014年から連続して野洲からの団員を受け入れてくださっている交流事業の理解者です。滞在中、雨は数滴のみでカラッとした爽やかな晴天に恵まれました。Laymanさんの庭には一日中木陰があり、そこに置いてあるブランコで風と鳥のさえずりを聞いていると、本当にパラダイスにいるような心地よさでした。リスが駆け回り、ハチドリやいろいろな種類の鳥がLaymanさんのまぐエサにつられてやってきます。アメリカンコーヒーを飲みながらの至福のひとつでした。

公共施設の訪問で特に印象に残ったのは、ダコタ高校です。将来、生徒が社会に出てすぐに仕事ができるように、実際に自分でデザインから機械工作までするカリキュラムや、自分の意見を発表する訓練のためのディベートを取り入れていることが素晴らしいと思いました。

アメリカのスケールの大きさを改めて感じるとともに、Laymanさん初め多くの方にお世話になり、人々の優しさに触れることができました。今後ともこの姉妹都市交流によって、多くの方と共に両国の良さを知り合えたらと思います。(竹田晴仁)



ダコタ高校訪問

野洲まつり

ワールドウォッチング

ジャマイカってどんな国？

カリブ海の島国ジャマイカは、面積 11,424 km²、人口約 290 万人。夏はとても暑く、冬でも雪が降らない常夏の国です。1962 年までイギリス領だったため、公用語は英語ですが、英語とアフリカ語などが組み合わさったパトワという言葉も話します。アフリカ系住民が大部分（97%）を占め、多人種や混血の人々も多く暮らしています。ジャマイカの国旗の黒色はジャマイカ国民の強さと創造性を、黄色は太陽と天然資源を、緑は将来の希望と豊かな農業を象徴しています。「Out of Many, One People（多くの人種から一つの国へ）」をモットーとし国章にも刻まれています。

今回のワールドウォッチングは、5月27日コミセンきたのにて、Babatonji Harris（ババトゥンジ ハリス）さんから英語でジャマイカの紹介と、通訳を交えた質問タイムがありました。ハリスさんは、ジャマイカ北海岸のモンティゴ・ベイの出身です。約 8 年前に来日され、2 年前から栗東で ALT（外国語指導助手）の仕事をしています。好きな日本食は、刺身や寿司、天ぷら、豚骨ラーメンというハリスさん。ジャマイカの食べ物についても、熱心に話してくれました。ジャマイカの料理は、Curry gort（スパイシーなヤギ肉の焼肉）、Ackee and saltfish（アキというフルーツと塩漬けたラの炒め物）、Jamaican patty（ジャマイカのミートパイ）など、「めっちゃおいしい！」料理がたくさんあるそうです。その中でもおすすめは Jerk chicken（ジャークチキン）。ジャークとは、ピメントという木の上で肉や野菜を焼く、木ヤスパイスの香りが素晴らしいジャマイカの伝統料理です。ジャマイカには野菜や果物もたくさんあり、特に果物は種類も豊富でとても甘いと説明してくれました。

音楽とダンスが大好きなジャマイカでは、レゲエ、ロック、ジ

ャズなどさまざまなジャンルが好まれています。街やバスやタクシーの中ではいつも音楽が流れていて、知らない人とおしゃべりをするのが普通なので、日本の静かな電車にはいまだに慣れないと言っていました。レゲエサマーフェスティバルやジャズ&ブルースフェスティバルなどが1週間通して行われ、いろんな音楽を楽しめます。独立記念日も、音楽やダンス、スポーツや花火で盛大に祝います。

ジャマイカは自然も魅力のひとつです。島の周囲にはたくさんのビーチがあり、仕事が終わった後に夕日を見ながら裸足で歩くビーチウォーキングは、とてもリラックスできるそうです。7 マイル（11 km）ロングビーチや Luminous Lagoon（青く光る湖）、ワニの住むマングローブ、ブルーマウンテン山など、自然を目当てに来る観光客も多く、観光はジャマイカの主要な産業です。

学校や教育のこと、気候やハリケーンのこと、日本とジャマイカの違いなど、さまざまな質問があった後、ジャマイカダンスを教えてくださいました。Elephant Man の「Pon de River, Pon de Bank」（Pon de はパトワ語で Jump in の意味）にあわせて、みんなでダンス！足と腕を振りバランスをとる動きやランニングのような動きで、慣れてくるとだんだん笑顔に。ジャマイカの魅力を体感したワールドウォッチングでした。



日本語指導者養成講座



6月2日（土）、浅井華代先生による日本語指導者養成講座が開催され、日本語指導に興味ある20名が参加しました。私はスイスに滞在した際、市のフランス語教室でボランティアの先生に習ったことがあるので、日本語をどのように教えたらいいかに興味があって、今回の講座を受講しました。講座は、受講者同士の自己紹介、他己紹介に始まり、日本語指導何をどう教えるか、『みんなの日本語』のテキストの使い方、チラシとカレンダーを活用する方法、を教えてくださいました。

日本語指導においては、教えるというよりは「学習者は何ができるのか」「何が出来るようになりたいか」を聞き、そのためには一緒に何をしたらよいかを考え、手助けすることが重要であると教えてくださいました。単語力をつけるためには、「何ですか単語帳」を学習者自身が作り、「何ですか」とメモ帳を片手に聞いて回り、母語と日本語の意味を書いておくと語彙力が高まり、この方法で日本語がうまくなった方がいると聞きました。

『みんなの日本語』のテキストは順序立てて学ぶことが出来るだ

けでなく、イラストから日本の文化や生活様式についても学ぶことが出来るということです。「みんなの日本語かるた」やポチ袋、お盆玉なども出版元から無料でダウンロード出来て利用価値があること、『みんなの日本語』の歌が台湾で流行中ということが印象に残りました。チラシは、例えば、端午の節句には柏餅、お盆にはオードブル、いなりずし、クリスマスにはチキンやサンドイッチが掲載されているので見ていて面白く、地域の安売りや行事の情報などが分かる生きた最高の教材で、地域情報を得られることがチラシを使うことのメリットであると教えて頂きました。



講座を通して、日本語を教えることを難しく考えることはない、テキストや身近なものを使って日本語を教えることが出来る、また、相手のことを理解し、寄り添う姿勢が大事だと分かりました。交流をすることが楽しみであると感じられたよい機会でした。（M）

世界料理教室

ペルー 編

人気の世界料理教室が6月23日（土）に開催され、25名の参加を得て、日本人の舌に良く合うと聞くペルー料理を教えてくださいました。講師は湖南省に在住の谷口デボラさんです。料理の手順をデモンストレーションしながら、流暢な日本語でとてもわかりやすく説明してくれました。メニューはパパ・ア・ラ・ウアンカイーナ（ジャガイモの前菜）、ロモ・サルタード（牛肉とポテトの炒め物）、アロス・コン・レチェ（米のミルク煮）の3品です。

ジャガイモの前菜：茹でたジャガイモとゆで卵、オリーブ、レタスにクリームをかけます。クリームは、牛乳・チーズ・クラッカーのこくでペルーの黄色唐辛子の辛味が程よく効いたもので、どんな料理にもかけていただくそうです。デボラさんは辛い物好きなので唐辛子を相当量入れるそうですが、私たちはレシピの半量に抑えました。

牛肉とポテトの炒め物：牛肉、玉ねぎ、トマト、セロリを炒めた中に、別に揚げたフライドポテトを加え合わせ、ご飯に添えます。牛肉



を炒める際にはフライパンに火を入れると香ばしくなるとのこと。塩胡椒・酢・醤油の味付けに加え、にんにく・クミン・パセリ・パクチー・オレガノと多くの香辛料を使った料理ですが、酸味の効いたさっぱりとした味わいです。
米のミルク煮：米を粥状になるまで茹でた後、ミルクを加え、焦げ付かないように常にかき混ぜながら煮ます。砂糖やコンデンスミルクをたっぷり使いますが、それほど甘くなく、ココナッツ、レーズン、クローブやシナモンの香りがする美味しいデザートです。



食後は、デボラさんからペルーについて教えてくださいました。ペルーは海岸沿いの乾燥地帯、中央のアンデス地域、内陸のジャングル地帯に分かれ、料理もそれぞれ違います。海岸地域の主食は米、アンデス地域はトウモロコシです。今回のロモ・サルタードは伝統料理で、材料に多少の違いはありますがどの地域でも食べるそうです。調理師免許を持っているデボラさんは2年後にはペルー料理のレストランを開きたいとのこと。野洲でもペルー料理を楽しめる日が来るかもしれません。



ドラゴンカヌー国際協会チーム

待ち遠しい「ドラゴンカヌー&BBQ」がやってきました。8月19日まで一日一日数えていたイベントがやってきました。「今日は存分に家族で遊ぶよ」と気合を入れて家を出ました。バスを降りて、あやめ浜の近くまで歩くと、青空の下、きらきらしたびわ湖でカヌーたちが私たちを待っていてくれました。ベトナム、日本、インド、アメリカ、オランダ、シンガポールの様々な国から来たメンバーですが、同じ野洲市国際協会チームです。オールの持ち方すら知らなかったメンバーもとりあえず必死に漕ぎました。カヌーが思い通りに動かず、ぐるぐる回っていて、大爆笑でした。これで心も健康になりますね。すごく楽しかった。「花より団子」とよくありますが、今日は花も団子もよく楽しめました。カヌー漕ぎでお腹が減っているところ、浜辺ではBBQが待っていました。焼きたての美味しいお肉、焼きそば、お野菜を食べられて最高にハッピーでした。

「また来年も行きたい」と自分だけではなく、アメリカ人、日本人、ベトナム人等の皆からの要望です。心身ともに健康になるこのイベントを開催してくれる方々に心から感謝します。（大塚ボン）



V.O.F.A V.O.F.A V.O.F.A 私たちは国際交流事業を応援しています V.O.F.A V.O.F.A V.O.F.A



ゼラチン・コラーゲンペプチド各種製造販売しております。

野洲化学工業株式会社

本社 滋賀県野洲市三宅1013
TEL 077-588-3000
FAX 077-588-3004

三上工場 滋賀県野洲市三上2268
東京営業所 東京都千代田区岩本町2-4-5
インスタイルスクエア R1204号

感謝の50周年未来へ



湖東開発株式会社 0120-587-033
野洲市小瀬原 1205 番地